



「つくる責任 つかう責任」※1を意識して
循環型社会を実現
～信州らしい生活様式へ～

県民、事業者、行政(県・市町村)がそれぞれの役割を意識して、環境にやさしい長野県を目指しましょう

県民の皆さんへ

ごみの少ない生活を心掛けましょう

○環境に配慮した品物を選びましょう

- ・使い捨てのものではなく、長く使えるものを選びましょう
- ・リユース製品、リサイクル製品を選びましょう
- ・省エネ製品など利用時に環境負荷の少ない商品を選びましょう
- ・輸送に当たって環境負荷の少ない商品(地場産品等)を選びましょう

○リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス(4R)※2に取り組みましょう

- ・不要なものは断りましょう
- ・繰り返し使いましょう(マイバッグ、マイボトルなど)
- ・ごみは自治体のルールに従って分別しましょう
- ・食品ロスを減らしましょう(残さず食べる、未利用食品の提供など)



事業者の皆さんへ

事業活動から発生する廃棄物の発生抑制・減量化に努めましょう

○事業者の皆さんへ

- ・排出者としての責務を確認し、適正処理を行うとともに、廃棄物の発生が少ないものづくりに取り組みましょう
- ・4Rに取り組みましょう(食品ロスの削減、拡大生産者責任、プラスチックから植物由来等代替素材への転換等)
- ・長野県産業廃棄物3R実践協定や環境マネジメントシステム等の導入を検討しましょう

○廃棄物処理業者の皆さんへ

- ・廃棄物処理法や長野県廃棄物条例を遵守し、適正処理を行いましょう
- ・焼却熱など未利用エネルギーを有効に活用しましょう
- ・災害時において市町村が実施する災害廃棄物の処理に御協力ください

行政(県・市町村)の役割

県内、区域内の廃棄物の減量、適正処理に向けた取組を行います

- ・プラスチックと賢く付き合う信州プラスチックスマート運動を推進し、食品ロス削減の取組を進めます
- ・4Rを進め、県内の産業廃棄物(県)、区域内の一般廃棄物(市町村)の発生抑制に努めます
- ・廃棄物の適正処理のための各種制度の周知・指導を行います
- ・不法投棄防止を呼び掛けます
- ・市町村は災害廃棄物処理計画策定を進めるとともに、県は策定を支援します
- ・2050ゼロカーボン、地域循環共生圏の構築に向けて取組を進めます



※1 SDGsのゴール12「つくる責任 つかう責任」は、持続可能な生産消費形態を確保することを目指す循環型社会推進を象徴するゴールです。

※2 4Rとは、リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)、リプレイス(プラスチックから植物由来等代替素材への転換)を指します。